



委員会

市民農園は、将来需要がふえてくると思うが、現在の66区画で需要が満たされているのか。

建設経済委員会

現在の公設市民農園については需給のバランスがとれていると判断する。将来的にはニーズが高まってくると思うが、民間の協力をいただいた中で農園の充実を図っていききたい。

私設簡易水道が公営の簡易水道に統合されたが、上水道との統合の時期はいつ頃になるか。水道料金をどのようにしていくか。

建設経済委員会

来年度から上水道の中へ組み入れていく考えている。水道料金は、21年度統一すべきであるが、平成22年4月から上水道料金を一元化すべき作業を進めている。21年度は1市3制度で対応し、22年度から全市統一料金とする予定で進めている。



統合された簡易水道の笠原水源

袋井市民病院問題 特別委員会より (9/19開催)

第7回掛川市・袋井市新病院建設協議会(8/7開催)で建設候補地8箇所が示され、次回以降に継続協議となった旨、当局から報告があった。

これを受け、第8回の協議会(10/3)に臨むにあたり、建設候補地については「人口重心点付近の小笠山総合運動公園内を主張しつつ、エリアを少し柔軟にとらえることも必要」、「他の候補地についても協議会でどう整理されているのか確認が必要」など、様々な意見が出された。

また、市長から、新病院が建設された際の現市民病院については、1次医療や1次救急医療を担う役割、リハビリ・療養機能を持つ病院とし、(仮称)総合健康センターとの連携が保たれるようにしたいとの意向が示された。

袋井駅南地区まちづくり 特別委員会より (8/27開催)

国と鉄道事業者による自由通路の整備及び管理に関するルール化については、当局から「本年6月末までにルール化を図る予定であったが、再度期限を延長し、協議をしている。最終決定は未定である。」との報告があった。

これに対し委員から、「最終的に、どのくらい遅れることになるのか。」との質問があり、当局から「現時点で1年半くらい遅れている。ルール化後の事業再開に向けたJR東海との協議機関を考えると2年以上おくれるのではないか。」との回答があった。

企業立地対策 特別委員会より (7/28開催)

にぎわい新都心まちづくり事業(国本地区)の状況について、地権者会の設立に向けた準備をしているが、設立まで至っていないとの報告があり、委員からは、「まず、地元を固め、課題や手順を整理し、全力で進めていただきたい。」との意見が出された。

また、企業誘致の現状については、「山科東工業団地」を平成21年3月の分譲を目指して工事中であり、今秋に公募要項を定め公募していきたいとの報告があった。